

## 「もっこすプラン2007」の重点実施事項

### 【教育に関する事項】

#### 1 優秀な学生確保のための入試広報の充実・入学選抜制度の改善

##### [ 具体的取組例 ]

- ・ 高校教員等、受験生、さらには保護者など広報対象毎の資料を作成し、オープンキャンパス、出張講義、各種会議等で活用する。
- ・ 保護者を対象としたキャンパス見学会を開催する。
- ・ 大学院研究科情報について、大学ホームページ等を活用した理念、研究内容、教育内容等のPRに努めるとともに、これまで別々に作成していた博士前期課程と後期課程の募集要項を合冊にするなど、研究科単位で広報を行う。
- ・ 環境共生学科生態・環境資源学専攻及び居住環境学専攻にAO入試を導入する。
- ・ 学部・学科の見直しにおいて、学科制を確立し、学問分野を明確にすることにより、受験生から分かりやすいものとする。
- ・ 文学部、環境共生学部について、入学定員の増員を図る。

#### 2 高校教育と大学教育双方の充実改善に主眼を置いた高大連携の推進、モデル校を選定しての試行

##### [ 具体的取組例 ]

- ・ 熊本県教育委員会との協定に基づき、高大連携のモデル高校5校と協議し、高大連携の先行モデルとなる取組を実施する。
- ・ プレエントランス講座等を実施し、入学前教育の拡充を図る。

#### 3 教養教育と専門教育の位置づけを明確化し、かつ、キャリアデザイン教育の視点を加味した体系的カリキュラムの構築と、平成20年度入学者からの実施に向けた準備

##### [ 具体的取組例 ]

- ・ 平成20年度実施に向け全学的カリキュラムの改正を行い、カリキュラムのスリム化を図る。
- ・ 常勤教員による責任ある教育を行うため、カリキュラム改正検討の中で、非常勤講師の見直しを行い、非常勤講師科目の10%以上の削減を目指す。
- ・ 全学生を対象としたポートフォリオによるキャリアデザイン教育を行う。

#### 4 個性ある教育、特に各種達成目標を掲げての「もやいすと」育成プログラムの推進（参加学生数、フィールド数、参加教員数等）

##### [ 具体的取組例 ]

- ・ 参加学生数を150人程度、フィールド数を2か所程度、参加教職員数を30人程度とする目標を掲げてプログラムを推進する。

## 5 研究科長を中心とした大学院教育の見直し、文学研究科博士課程の設置準備

### [ 具体的取組例 ]

- ・平成20年度の文学研究科博士後期課程設置に向け、文部科学省への設置申請を行う。
- ・社会人学生のニーズに応える長期履修制度の平成20年度導入に向け、規程の整備等を行う。

## 6 責任ある教育・運営実施のための学科制確立

### [ 具体的取組例 ]

- ・学部・学科の見直しにおいて、学問分野を明確にし、責任ある教育、組織運営を行うため、学科制を確立する。
- ・平成20年度実施に向けて、文学部、環境共生学部については学科長を、総合管理学部についてはコース長を設置するための規程の整備等を行う。

## 7 中・長期的人事計画に基づく適正な教員人事の実施

### [ 具体的取組例 ]

- ・常勤教員による責任ある教育を行うため、カリキュラム改正検討の中で、非常勤講師の見直しを行い、非常勤講師科目の10%以上の削減を目指す。(再掲)
- ・採用及び昇格の適否を審査するための全学共通の資格審査組織の設置を検討する。

### 【研究に関する事項】

## 8 学部横断的研究実施など学長特別交付金制度の効果的な運用

### [ 具体的取組例 ]

- ・平成18年度学長特別交付金事業の成果発表会を実施する。
- ・学長が指示するテーマに基づき、学長特別交付金制度を活用した学部横断的研究に着手する。

## 9 科学研究費補助金等申請件数の対前年比増と当該補助金獲得のための組織的な支援の推進

### [ 具体的取組例 ]

- ・科学研究費補助金等の外部研究資金について、全教員の申請を目指し、申請に向けた準備のための説明会等の開催や、公募情報の収集・提供体制を確立する。

## 10 教員各人による自己点検の定常的实施体制の構築

### [ 具体的取組例 ]

- ・研究者情報入力システムを導入し、ホームページに掲載されている研究成果等について教員自ら適宜情報の更新を行う。

## 11 研究者個々人の研究実績の積み増しによる大学研究力の向上

### [ 具体的取組例 ]

- ・平成18年度に定めた顕彰制度に基づき、特に優れた研究業績を上げた教員への表彰を適宜行う。
- ・平成19年度予算編成方針に基づき、教育研究費の適正配分を行う。

### 【地域貢献に関する事項】

## 12 包括協定を軸とした実践的取組の推進により、連携から発展的展開へ

### [ 具体的取組例 ]

- ・協定企業と連携した活動を強化する。
- ・包括協定企業・市町村とのワークショップやフォーラムを開催する。
- ・包括協定市町村をフィールドとした学生の活動（もやいすと育成プログラム、受託調査等）を推進する。
- ・包括協定市町村をモデルとした職員研修プログラムを開発する。

## 13 「くまもとさんちの食育ビジョン」に掲げたプログラムの全学的な推進

### [ 具体的取組例 ]

- ・食環境研究情報室の活動を充実する。
- ・食育ビジョン推進プロジェクトチームを中心とした全学的取組を実施する。
- ・学食での特別メニューの提供など食育の日の取組を継続して実施する。

## 14 公開講座・シンポジウム・学会等の積極的な誘致・開催による「キラリと光る」 知の拠点の形成

### [ 具体的取組例 ]

- ・本学における公開講座を開講する。（食育・情報関連等）
- ・創立60周年記念シンポジウム（年4回）を開催する。

### 【国際交流に関する事項】

## 15 国際交流ビジョンに基づく全学的・実践的な取組、特に、「熊本で世界と向き合う」取組の推進

### [ 具体的取組例 ]

- ・熊本で実施される国際交流事業及び本学の国際交流事業（協定校、留学生関連）への学生の参加を促進する。（情報収集・提供、ポイント制などの検討）

### 【業務運営に関する事項】

## 16 全職員による学内業務運営の推進に向けたSD活動の推進

### [ 具体的取組例 ]

- ・計画的な人材の育成を推進するための研修計画を策定し、計画に沿った研修を実施する。

### 【財務内容に関する事項】

#### 17 法人化初年度決算を活用した各セグメント単位での財務分析

##### [ 具体的取組例 ]

- ・経年変化を把握するための分析指標を検討する。
- ・次年度予算に活用するために各セグメント単位で収入、支出状況を分析する。

### 【大学情報の公開・公表に関する事項】

#### 18 構築した広報広聴システムに基づく広報広聴活動の充実とホームページの充実化による大学改革の実績蓄積システムの構築

##### [ 具体的取組例 ]

- ・動画配信サービス導入  
大学案内ビデオや本学が実施するイベント、シンポジウム、講演会等を映像コンテンツとしてWEBに掲載し、視聴者のリクエストに応じて見たいときに見ることができるようにする動画配信サービスを導入する。
- ・提言募集システム構築  
外部からの提言を受けするためのシステムを構築する。
- ・各種広報誌(紙)の見直し  
新カリキュラムに対応した大学案内の作成をはじめ、各種広報誌(紙)の見直しを行う。
- ・創立60周年記念事業関係広報  
各種独自媒体・パブリシティの活用による広報活動を展開する。

### 【快適キャンパス(施設設備等)に関する事項】

#### 19 地球環境時代の地域コミュニティと共生し、ユニバーサルデザインを取り入れたキャンパスづくりの推進(定常的清掃業務の見直しを含むキャンパス整備計画の立案)

##### [ 具体的取組例 ]

- ・大学内の建物、施設等のサイン計画を策定する。
- ・環境配慮方針を策定する。